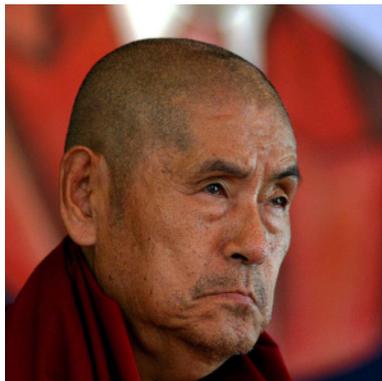


仏教者の使命と救済

インドの大地でブッダの弟子として龍樹の命をうけ、アンベードカルの遺徳を継ぎ、インド仏教徒と共に歩む佐々井秀嶺師。広範な知の領域を涉猟し、現代社会にアクチュアルな発言をしつつ、自らを仏教者とする宮崎哲弥氏。菩薩の道を歩む佐々井師と、言論活動を続ける宮崎哲弥氏、真の仏教者として生きる二人が「使命と救済」を語り合う。



佐々井秀嶺

1935年岡山県生まれ。インド仏教指導者。1988年インド国籍取得。ラジウ・ガンディー(当時の首相)からインド名、アーリア・ナーガールジュナを授与される。1960年高尾山薬王院(真言宗智山派)にて得度。タイに留学の後1967年渡印。1968年カースト差別に苦しむ人々を救う人権運動でもある、インド仏教復興運動に身を投じる。2003年にインド政府少数者委員会仏教代表に就任。



宮崎哲弥

1962年福岡県生まれ。慶応義塾大学文学部社会学科卒業。政治哲学、仏教論、サブカルチャー分析を主軸とした評論活動をテレビ、雑誌などで行う。『スッキリ!!』『ひるおび!』などのテレビ番組出演中。近著に、『知的唯仏論』(呉智英氏との共著)、『宮崎哲弥 仏教教理問答』、『さみしさサヨナラ会議』(小池龍之介氏との共著)など。自らの基本的な立場を「仏教者」としている。

主催 / お問い合わせ先 南天会

事務局 〒710-0004 岡山県倉敷市西坂 1582-1 一心念誦堂内

TEL 086-463-9391 MAIL nantenkai@gmail.com

佐伯隆快 (090-5304-8955) 小林三旅 (090-4538-2677)

佐々井秀嶺氏著書



求道者

佐々井秀嶺 (著) サンガ新書 定価799円(税込)

インド仏教一億人の指導者として、世界に名をとどろかせる日本人僧侶・佐々井秀嶺。カースト制度による根深い差別がある地で、最下層の不可触民たちを仏教徒に改宗させ、その人間を解放させ続けた四七年の歴史。権謀術数渦巻くインドの社会の深奥に分け入り、愛され、信頼され、そして裏切られ、それでも救済と求道の信念を曲げることはない。インド人を最も愛し、そして最も憎んだ男—運命に召喚された男の偽らざる肉声。